プログラム　８月１７日（金）

11:45～12:35　地方委員会

13:10　開会

13:15～14:05

一般演題 1（免疫・炎症）　座長　武田 裕司（山形大）

1-1

炎症性腸疾患における GITR を介した NK 細胞による制御機構

○櫻井 毅[1,2]、奥山祐子[1]、小林周平[1]、仁尾正記[2]，石井直人[1]

[1]東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座 免疫学分野、[2]東北大学大学院医学系研究科 発生・発達医学講座 小児外科学分野

1-2

GITR による 2 型自然リンパ球の活性化を介したアレルギー性肺炎症の制御機構

○奥山 祐子[1]，長島 宏行[1]，宗 孝紀[2]，石井直人[1]

[1]東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座 免疫学分野、[2]富山大学大学院医学薬学研究部（薬学）・分子細胞機能学研究室

1-3

Knockdown of S100A11 attenuates aggressive properties of lung adenocarcinoma cells by regulating F-actin organization and lamellipodia formation

○Tareg O. Mohammed[1,2], Taketo Nishikawaji[1], Ryuichi Nagashima[1], Izumiyama Keiko[1], Naoko Ogama[1], Nobuyuki Tanaka[1,2]

[1]Cancer Biology & Therapeutics, Miyagi Cancer Center Research Institute, [2]Tumorimmunobiology, Tohoku University, Graduate School of Medicine.

1-4

酸化ストレス応答系 Keap1-Nrf2 経路と自然リンパ球による腸炎制御機構の解析

○長島 隆一[1,2]，小斎 仁美[1]，田中 伸幸[1,2]

[1]宮城県立がんセンター研究所 がん先進治療開発研究部、[2]東北大学大学院 医学研究科 がん病態学分野

14:05～14:45

一般演題 2（細菌）　座長　浅野 クリスナ（弘前大学）

2-1

牛、山羊及びヒト由来ロドコッカス･エクイの病原性関連抗原 VapN の発現調節

○沢田 望、中山 雄太、佐々木 由香子、角田 勤、髙井 伸二

北里大学獣医学部獣医衛生学研究室

2-2

222 nm UV-C を発光する新規殺菌灯の殺菌効果、安全性の検討

○成田 浩司[1,2]，浅野 クリスナ[2,3]，森本 幸裕[2,4,5]，五十嵐 龍志[4]，中根 明夫[2,3]

[1]弘前大学大学院医学研究科附属動物実験施設, [2]弘前大学大学院医学研究科感染生体

防御学講座，[3]弘前大学大学院医学研究科生体高分子健康科学講座，[4]ウシオ電機株式会社，[5]大阪大学産業科学研究所

2-3
サケ鼻軟骨抽出プロテオグリカン塗布による黄色ブドウ球菌感染創の治癒促進作用
○廣瀬 昌平[1,2]，浅野 クリスナ[1,2]，中根 明夫[1,2]
[1]弘前大・院医・感染生体防御学講座，[2]弘前大・院医・生体高分子健康科学講座

14:55～15:35

一般演題 3（ウイルス）　　座長　松嵜 葉子（山形大学）

3-1
CM2 タンパク質の 73-75 位は C 型インフルエンザウイルスの増殖に関与する
○下平 義隆[1]，菅原 勘悦[1]，松嵜 葉子[1]，邵 力[2]，村木 靖[3]，後藤 崇成[1]，本郷 誠治[1]
[1]山形大学医学部 感染症学，[2]山形大学大学院医学系研究科 公衆衛生学，[3]岩手医科大学 微生物学講座 感染症学・免疫学分野

3-2
C 型インフルエンザウイルスに対する抗体 S16 が肝臓に及ぼす影響の解析
○佐々木 裕，吉野 直人，小田切 崇，村木 靖
岩手医科大学医学部微生物学講座 感染症学・免疫学分野

3-3
先天性サイトメガロウイルス感染における胎盤栄養膜由来 miRNA 群の役割
○生田和史，矢島 美彩子，神田 輝
東北医科薬科大学医学部微生物学教室

15:35～16:15

一般演題 4（免疫・炎症）　　座長　奥山 祐子（東北大学）

4-1
大豆イソフラボン代謝物のエクオールによる膀胱過活動発生の予防効果
○宮崎 希，菅原 麻莉，濱田 浩輝，錫谷 達夫
福島県立医科大学医学部 微生物学講座

4-2
Disintegrin and metalloproteinase domain-containing protein 17 (ADAM17) inhibitors reduce IL-12p40 secretion
○Mohammad Yeashin Gazi[1], Yuji Takeda[1], Hidetoshi Nara[1,2], Akemi Araki[1], Nobuhito Nemoto[1], Hironobu Asao[1]
[1]Department of Immunology, Yamagata University Faculty of Medicine, [2]Department of Biological Sciences, Ishinomaki Senshu University Faculty of Science and Engineering

4-3
シグナル伝達分子のリン酸化の分散性を用いたシグナル分類法
○武田 裕司[1]，奈良 英利[2]，荒木 明美[1]，浅尾 裕信[1]
[1]山形大学医学部免疫学講座，[2]石巻専修大学理工学部生物科学科

16:30～18:20

公開教育講演・シンポジウム　後援：株式会社　日本微生物研究所

Ⅰ 公開教育講演　　座長　赤池 孝章（東北大学）

迫りくる多剤耐性菌の現状－ヒト、動物、食品、環境と多様化する耐性菌の分布

演者：東京女子医科大学　感染症科　教授　菊池 賢

II 公開シンポジウム　　座長　菊池 賢（東京女子医科大学）

S1-1

腸管出血性大腸菌不顕性感染の現状

演者：（株）日本微生物研究所　専務取締役検査部長　佐藤 寿夫

S1-2

国内の患者由来腸管出血性大腸菌の特性

演者：国立感染症研究所　副所長・細菌第一部長　大西 真

プログラム　8 月 18 日（土）

8:50～9:40

一般演題 5（ウイルス）　座長　森田 英嗣（弘前大学）

5-1

日本人由来 EB ウイルスゲノム塩基配列の解析

矢島 美彩子，生田 和史，〇神田 輝
東北医科薬科大学医学部微生物学教室

5-2

日本脳炎ウイルスキャプシド蛋白質のアラニン置換変異体群の解析

〇石田 幸太郎[1]，後藤 史門[1]，天沼 美里[1]，石村 麻里奈[1]，鈴木 亮介[2]，森田 英嗣[1]
[1]弘前大学農学生命科学部分子生命科学科，[2]国立感染研究所ウイルス二部

5-3

ノロウイルス GI のポリメラーゼ領域とカプシド領域を含んだ PCR の検出系の開発と検査特性の評価

〇喜多 浩士[1]，当广 謙太郎[1]*，Joseph Bonifacio[2]，川村 和久[3]，野口 光徳[4]，阿部 智美[1]，岡本 道子[1]，Robert H. Gilman[5]，斉藤 繭子[1]，押谷 仁[1]
[1]東北大学大学院医学系研究科，[2]Research Institute for Tropical Medicine，[3]かわむらこどもクリニック，[4]野口胃腸内科医院，[5]Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health (*現在の所属先：U.S.Food & Drug Administration)

5-4

2001～2017 年に山形で分離されたコクサッキーウルス A6 型の分子疫学

〇水田 克巳[1]，田中 静佳[1]，駒林 賢一[1]，青木 洋子[1]，池田 辰也[1]，板垣 勉[2]，勝島 史夫[3]，勝島 由利子[3]，吉田 宏[4]，伊藤 末志[4,5]，松嵜 葉子[6]
[1]山形県衛生研究所微生物部，[2]山辺こどもクリニック，[3]勝島小児科医院，[4]鶴岡市立荘内病院，[5]いとうクリニック，[6]山形大学医学部感染症学講座

9:40～10:20

一般演題 6（細菌）　座長　藤井 重元（東北大学）

6-1

Streptococcus anginosus 新規病原因子としての aminoacyl-tRNA synthetase

〇下山 佑，石河 太知，古玉 芳豊，佐々木 実
岩手医科大学微生物学講座分子微生物学分野

6-2

病原細菌による活性パースルフィド産生を介したオートファジー抑制と感染防御異常

〇松永 哲郎[1]，西村 明[1]，藤井 重元[1]，井田 智章[1]，小野 勝彦[2]，津々木 博康[2]，澤 智裕[2]，赤池 孝章[1]
[1]東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野，[2]熊本大学大学院生命科学研究部 医学系微生物学分野

6-3
種横断的システインパースルフィド合成酵素の発見とその生体防御機能の解明
◯井田 智章[1]，守田 匡伸[1]，松永 哲郎[1]，西村 明[1]，居原 秀[2]，澤 智裕[3]，
藤井 重元[1]，本橋 ほづみ[4]，赤池 孝章[1]
[1]東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野，[2]大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻，[3]熊本大学大学院生命科学研究部 医学系微生物学分野，[4]東北大学加齢医学研究所 遺伝子発現制御分野

10:30～12:00

日本生体防御学会共催　基調講演・シンポジウム

I 基調講演　　座長　赤池 孝章（東北大学）

転写因子 NRF2 による生体防御とイオウ代謝

演者：東北大学加齢医学研究所　教授　本橋 ほづみ

II シンポジウム「生体防御とレドックスシグナル」　座長　本橋 ほづみ（東北大学）

S2-1
活性イオウによるマクロファージの細胞内殺菌活性の増強
演者：熊本大学大学院生命科学研究部　教授　澤 智裕

S2-2
メチル水銀の新規毒性発現機構―活性イオウ分子/レドックスシグナル制御系の破綻―
演者：大阪府立大学大学院理学系研究科　教授　居原 秀

S2-3
タンパク質中の活性イオウによるミトコンドリア品質管理制御
演者：自然科学研究機構生理学研究所　教授　西田 基宏

12:00～12:30　　支部総会
12:30　　閉会